



公益社団法人 日本美術教育連合 ニュース

No. 141

2014. 7

〒113-0033 東京都文京区本郷2-30-14 文京ビル206号

公益社団法人 日本美術教育連合

発行人 理事長 宮坂元裕

ニュース担当 北川智久

E-mail: kitagawa@elementary-s.tsukuba.ac.jp

私の草の根運動

聖心女子大学 水島尚喜

楽しく造形活動している子どもたちをイメージしてもらえるように「図工讃歌」を作りました。講義の冒頭で、唄っています。敬老精神豊かな学生諸子は、ニコニコしながら中年ジャイアンの暴挙につき合ってくれます。下記は、歌詞2番までですが、【共通事項】を織り込んだ6番までのロングバージョンもございます。

一方、太古の洞窟壁画と音楽との関連性が近年指摘されています。壁画の前で、何らかの音楽的所作を行っていたらしいのです。視覚と聴覚が総合される太古のメンタリティー同様、子どもたちの「図工の身体」を感じ取って欲しい、歌詞を頭の中でリフレインしながら、いつまでも美術することの楽しさを身体化して欲しい、と羞恥心を捨て暴挙(!?)の日々を過ごしています。

「図工大好き！」 Ver.0.99

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1、図工大好き お絵描き 大好き | 2、図工 大好き 工作 大好き |
| こころの パレット 開けてみよう | トントん ギコギコ 何つくろう |
| ゆめよ ひろがれ 世界中に | 世界に ひとつの たった ひとつの |
| 想像の 翼 ひろげよう | 創造の 形 みつけよう |

* (リフレイン)

みんなであげこう (ぺたぺた) みんなでつくろう (トントん)

みんなで みんなで 楽しく (イエイエイエ)

第48回 日本美術教育研究発表会2014 案内

1. 日 時 平成26年10月19日(日) 9時~17時30分(予定)
2. 会 場 東京家政大学板橋キャンパス
〒173-8602東京都板橋区加賀1-18-1
3. 主 催 公益社団法人 日本美術教育連合 (InSEA-JAPAN)
4. 後 援 文部科学省(申請中)

公益社団法人 日本美術教育連合 第4回定時総会議事録

- 1 日時 平成26年4月20日（日） 午後1時30分～3時00分
- 2 会場 聖心女子大学400番教室 東京都渋谷区広尾4-3-1
- 3 開会の言葉 大坪圭輔
大坪圭輔理事により開会の宣言があった。
- 4 代表理事挨拶 宮坂元裕（略）
- 5 総会成立宣言（事務局長）
西村徳行事務局長より次のような説明があった。
委任状103名 出席者23名 計126名
よって定款第18条により、総会が成立した旨報告・説明があり、確認された。
- 6 議長選出
定款第16条に基づき、山口喜雄理事が議長に指名された。
- 7 議事録署名者指名
宮坂元裕代表理事により
代表理事の他、山口喜雄議長 北澤俊之会員（次期監事内定者） 直井崇会員が指名された。
- 8 審議事項
(1) 第1号議案 平成25年度事業報告の件
このことについて、議案書2ページに基づき代表理事より説明があった。
その主なものは次のようである。
平成25年
4月7日 北川智久、郡司明子、両監事による会計監査が行われた。
4月21日 第3回定時総会が武蔵野美術大学新宿サテライトにおいて開催された。
同日、同会場において文部科学省教科調査官 東良雅人先生の講演会が開催された。
6月30日 第1回理事会及び運営委員会が開催された。
7月10日 日本美術教育連合ニュースNo.138号が発行された。
8月26日 事業局主催「造形・美術教育力養成講座〈第Ⅱ期〉」が武蔵野美術大学新宿サテライトで開催された。
8月27日 前日に引き続き同上講座が同上会場で開催された。
8月28日 前日に引き続き同上講座が四谷CCAAで開催された。
9月1日 第2回理事会及び運営委員会及び日本美術教育研究論集編集委員会が開催された。
9月19日 日本美術教育連合ニュースNo.139号が発行された。
10月20日 第3回（通算47回）日本美術教育研究発表会が東京家政大学で開催された。
11月24日 第3回理事会及び運営委員会及び日本美術教育研究論集編集委員会が開催された。
11月30日 造形・美術教育フォーラムが武蔵野美術大学新宿サテライトにおいて開催された。講師は千葉大学佐藤真帆氏と群馬大学茂木一司氏であった。

12月8日 第4回理事会及び運営委員会及び日本美術教育研究論集編集委員会が開催された。

平成26年

1月26日 第5回理事会及び運営委員会及び日本美術教育研究論集編集委員会が開催された。

3月16日 第6回理事会及び運営委員会が開催された。

3月20日 日本美術教育連合ニュースNo.140号が発行された。

3月31日 日本美術教育研究論集2014 No.47が発行された。

4月6日 北川智久、郡司明子両監事により会計監査が実施された。

4月20日 第7回理事会及び運営委員会が開催された。

以上について質疑はなく、平成25年度の事業報告は原案通り承認された。

(2) 第2号議案 平成25年度決算報告の件

このことについて議案書3～9ページに基づき事務局長より以下のような説明があった。

事業活動収入は、2,040,780円であった。

事業活動支出は、2,340,352円であった。したがって事業活動収支差額は、-299,572円であった。

次に、平成25年度財産目録について説明があり資産合計は、6,406,003円であった。なお平成21年度から、基本財産に図書（山形文庫／筑波大学芸術学系保管）2,500冊が2,500,000円として計上された。平成26年3月31日現在では流動負債として未払金が686,399円、借入金が650,000円あるため、正味財産は、5,069,604円である。

以上の通りの報告があった。

第2号議案に対する監査報告

監査報告

北川智久監事より、平成26年4月6日に事業報告並びに決算報告につき監査の結果、予算執行、経理事務処理等が適正であるとの監査報告があった。

以上について質疑はなく、平成25年度決算は原案通り承認された。

(3) 第3号議案 定款の変更及び追加に関する件

議長より定款42条の条件を満たしていることの確認を事務局長に行った後、このことについて代表理事より議案書11ページを基に以下の提案があった。

(開催)

第14条 総会は定時総会として毎年度4月から5月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。(4月からを挿入)

(役員を選任)

第22条

4 代表理事は任期を5期ないし10年を限度とする。

(4 全文を追加)

以上について質疑なく、定款の変更及び追加は原案通り可決承認された。

(4) 第4号議案 平成26・27年度役員承認の件

郡司明子選挙管理委員長より選挙の結果が報告された。

それを受けて代表理事は理事候補5名及び監事候補1名の提案を行った。

その結果、理事 大坪圭輔 郡司明子 水島尚喜 宮坂元裕 山口喜雄及び
上記5名が推薦した監事 北澤俊之 の役員が満場一致で承認された。

なお、平成26・27年度の代表理事は互選により宮坂元裕
を選出した旨、代表理事より報告があった。

(5) 第5号議案 平成26年度 事業計画の件

このことについて代表理事より議案書12ページを基に以下のような説明があった。

平成26年

- | | |
|--------|---|
| 4月20日 | 第4回 定時総会を開催
会場 聖心女子大学400番教室
東京都渋谷区広尾4-3-1 |
| 4月20日 | シンポジウム「美術教育の未来をひらくために現状を分析し今後の在り方を考える」を開催 |
| 6月 | 日本美術教育連合ニュースNo.141号を発行 |
| 6月29日 | 第1回理事会及び運営委員会及び講習会準備会を開催 |
| 8月 | CCAAを会場として事業局主催「造形・美術教育力養成講座」〈第Ⅲ期〉計8コマを開催 |
| 8月31日 | 第2回理事会及び運営委員会及び日本美術教育研究論集編集委員会を開催 |
| 9月 | 日本美術教育連合ニュースNo.142号を発行 |
| 10月19日 | 第4回（通算第48回）日本美術教育研究発表会を開催
会場 東京家政大学 |
| 11月24日 | 第3回理事会及び運営委員会及び日本美術教育研究論集編集委員会を開催 |
| 12月7日 | 第4回理事会及び運営委員会及び日本美術教育研究論集編集委員会を開催 |
| 12月7日 | 造形・美術教育フォーラムを開催 |

平成27年

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 1月25日 | 第5回理事会及び運営委員会及び日本美術教育研究論集編集委員会を開催 |
| 2月 | 日本美術教育連合ニュースNo.143号を発行 |
| 3月15日 | 第6回理事会及び運営委員会を開催 |
| 3月31日 | 日本美術教育研究論集2015 No.48を発行 |
| 4月5日 | 会計監査 |

以上について審議の結果 平成26年度事業計画は提案通り承認された。

(6) 第6号議案 平成26年度 収支予算案の件

このことについて事務局長より議案書13. 14ページを基に以下のような提案があった。

I 事業活動収支の部

1 事業活動収入

受取正会員会費収入を、1,140,000円とした。

事業活動収入計は、2,125,000円 を計上した。

2 事業活動支出

事業活動支出計は、1,994,000円 を計上した。

II 投資活動収支の部

平成26年度は、新事業準備預金を設定しないので、これにより次期繰越収支差額を、131,000円とする予算案を提案した。

質疑の後、平成26年度 収支予算案は可決承認された。

以上をもってすべての議案の審議を終了したので、議長は審議の終了を宣した。

9 連絡・報告

(1) 大坪圭輔 理事より国際局運営委員会報告があった。

(2) 山口喜雄 理事より日本美術教育研究発表会の予定が報告された。編集委員長の小林貴史理事より事務連絡があった。

(3) 水島尚喜 理事より、平成26年度に向けての活動予定の報告あった。

10 閉会の言葉

大坪圭輔 理事により閉会の宣言があり閉会した。

公益社団法人 日本美術教育連合
InSEA-JAPAN

第4回 定時総会 資料

- p. 7 平成25年度事業報告
- p. 8 貸借対照表
- p. 9 正味財産増減計算書
- p.10 財務諸表に対する注記
- p.11 附属明細書
- p.12 財産目録
- p.13 会計監査報告書
- p.14 平成26年度事業予定
- p.15 平成26年度収支予算書

平成 25 年度 事 業 報 告

平成25年

- 4月7日(日) 北川智久、郡司明子 両監事による会計監査が実施された。
-
- 4月21日(日) 第3回定時総会が武蔵野美術大学新宿サテライトにおいて開催された。
同日、同会場において文部科学省教科調査官 東良雅人先生の講演会が開催された。
- 6月30日(日) 第1回理事会・運営委員会、講習会準備会が筑波大学附属小学校工作室で開催された。
- 7月10日(水) 日本美術教育連合ニュース No.138号が発行された。
- 8月26日(月) 事務局主催「造形・美術教育力養成講座〈第Ⅱ期〉」が武蔵野美術大学新宿サテライトにおいて開催された。講師は奥村高明氏2回と橋本光明氏1回であった。
- 8月27日(火) 前日に引き続き「造形・美術教育力養成講座〈第Ⅱ期〉」が上記会場で開催された。講師は榎原弘二郎氏1回、藤崎典子氏1回、水島尚喜氏1回であった。
- 8月28日(水) 前日に引き続き「造形・美術教育力養成講座〈第Ⅱ期〉」が会場を四谷CCAAに移動して開催された。講師は西村德行氏2回であった。全8回の登録者は60名であった。そのうち講習会修了者は3名であり、終了証明証が発行された。
- 9月1日(日) 第2回理事会・運営委員会、日本美術教育研究論集編集委員会が筑波大学附属小学校工作室で開催された。
- 9月19日(木) 日本美術教育連合ニュース No.139号が発行された。
- 10月20日(日) 第3回(通算47回)日本美術教育研究発表会が東京家政大学において開催された。
- 11月24日(日) 第3回理事会・運営委員会、日本美術教育研究論集編集委員会が筑波大学附属小学校工作室で開催された。
- 11月30日(土) 造形・美術教育フォーラムが武蔵野美術大学新宿サテライトにおいて開催された。講師は千葉大学、佐藤真帆先生と群馬大学、茂木一司先生であった。
- 12月8日(日) 第4回理事会・運営委員会、日本美術教育研究論集編集委員会が筑波大学附属小学校工作室で開催された。

平成26年

- 1月26日(日) 第5回理事会・運営委員会、日本美術教育研究論集編集委員会が筑波大学附属小学校工作室で開催された。当日次期役員選挙の開票が行われた。
- 3月16日(日) 第6回理事会・運営委員会が筑波大学附属小学校工作室で開催された。
- 3月20日(木) 日本美術教育連合ニュース No.140号が発行された。
- 4月6日(日) 北川智久、郡司明子両監事により会計監査が実施された。
-
- 4月20日(日) 第4回定時総会を聖心女子大学において開催。

(1) 貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,216,217	1,469,204	△ 252,987
流動資産合計	1,216,217	1,469,204	△ 252,987
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	2,600,000	2,600,000	0
図書	2,500,000	2,500,000	0
基本財産合計	5,100,000	5,100,000	0
(2) 特定資産			
新事業準備預金	29,786	28,482	1,304
特定資産合計	29,786	28,482	1,304
(3) その他固定資産			
敷金	60,000	60,000	0
その他固定資産合計	60,000	60,000	0
固定資産合計	5,189,786	5,188,482	1,304
資産合計	6,406,003	6,657,686	△ 251,683
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	686,399	615,510	70,889
借入金	650,000	650,000	0
預り金	0	23,000	△ 23,000
流動負債合計	1,336,399	1,288,510	47,889
負債合計	1,336,399	1,288,510	47,889
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	5,069,604	5,369,176	△ 299,572
(うち特定資産への充当額)	(29,786)	(28,482)	(1,304)
正味財産合計	5,069,604	5,369,176	△ 299,572
負債及び正味財産合計	6,406,003	6,657,686	△ 251,683

(2) 正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	1,299	1,564	△ 265
特定資産運用益			
特定資産受取利息	5	4	1
受取入会金			
受取入会金	54,000	39,000	15,000
受取会費			
受取正会員会費	924,000	1,298,000	△ 374,000
受取賛助会員会費	175,000	137,000	38,000
事業収益			
論集広告料	215,000	155,000	60,000
論集掲載料	490,000	291,000	199,000
受取補助金等			
受取寄付金	147,500	632,000	△ 484,500
受取利息	26	36	△ 10
雑収益	33,950	45,500	△ 11,550
経常収益計	2,040,780	2,599,104	△ 558,324
(2) 経常費用			
事業費			
印刷製本費	895,125	754,200	140,925
通信運搬費	136,509	107,800	28,709
賃借料	0	26,500	△ 26,500
諸謝金	85,000	150,000	△ 65,000
Insea世界大会諸謝金	30,000	0	30,000
会議費	20,000	36,837	△ 16,837
雑費	3,840	1,470	2,370
管理費			
会議費	239,000	197,012	41,988
旅費交通費	11,510	2,500	9,010
通信運搬費	51,520	35,460	16,060
光熱水料費	4,500	3,600	900
地代家賃	548,000	390,000	158,000
懇親会費	7,780	0	7,780
消耗品費	17,388	5,230	12,158
支払負担金	0	30,000	△ 30,000
計算書類作成費	283,500	241,500	42,000
雑費	6,680	8,005	△ 1,325
経常費用計	2,340,352	1,990,114	350,238
当期経常増減額	-299,572	608,990	△ 908,562
当期一般正味財産増減額	-299,572	608,990	△ 908,562
一般正味財産期首残高	5,369,176	4,760,186	608,990
一般正味財産期末残高	5,069,604	5,369,176	△ 299,572
II 正味財産期末残高	5,069,604	5,369,176	△ 299,572

(3) 財務諸表に対する注記

1. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	2,600,000	0	0	2,600,000
図書	2,500,000	0	0	2,500,000
小計	5,100,000	0	0	5,100,000
特定資産				
新事業準備預金	28,482	1,304	0	29,786
小計	28,482	1,304	0	29,786
合 計	5,128,482	1,304	0	5,129,786

2. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	2,600,000	0	2,600,000	0
図書	2,500,000	0	2,500,000	0
小計	5,100,000	0	5,100,000	0
特定資産				
新事業準備預金	29,786	0	29,786	0
小計	29,786	0	29,786	0
合 計	5,129,786	0	5,129,786	0

(4) 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	2,600,000	0	0	2,600,000
	図書	2,500,000	0	0	2,500,000
	基本財産計	5,100,000	0	0	5,100,000
特定資産	新事業準備預金	28,482	1,304	0	29,786
	特定資産計	28,482	1,304	0	29,786

(5) 財 産 目 録

平成26年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物置等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金預金			
	現金	手元保管	運転資金として	284,682
	通常預金	ゆうちょ銀行	運転資金として	809,535
	振替貯金	ゆうちょ銀行	運転資金として	122,000
流動資産合計				1,216,217
(固定資産)				
基本財産				
	定期預金	三菱信託銀行上野支店	運用益を公益目的事業に使用する。	2,600,000
	図書	山形文庫 2,003冊 筑波大学芸術学系保管	調査研究の資料として活用している。	2,500,000
特定資産				
	新事業準備預金	三菱信託銀行上野支店	運用益を法人会計の収入に活用する。	29,786
その他固定資産				
	敷金	文京区本郷2-30-14	事務所敷金	60,000
固定資産合計				5,189,786
資産合計				6,406,003
(流動負債)				
	未払金	上武印刷㈱	日本美術教育研究論集第47号 印刷代	645,750
	未払金	上武印刷㈱	日本美術教育研究論集第47号 郵送料	40,649
	借入金	宮坂元裕	運転資金	650,000
流動負債合計				1,336,399
負債合計				1,336,399
正味財産				5,069,604

会計監査報告書

平成25年度（平成25年4月1日～平成26年3月31日）の事業報告並びに収支計算書につき監査の結果、予算執行、経理事務処理等が適正であることを認めます。

平成26年4月6日

公益社団法人 日本美術教育連合

監事 北川 智久 

監事 郡司 明子 

平成 26 年度 事 業 予 定

平成26年

- 4月20日(日) 第4回 定時総会 及び造形・美術教育フォーラム
会場 聖心女子大学400番教室
- 5月 事務局主催「造形・美術教育力養成講座〈第Ⅲ期〉」準備会
- 6月 日本美術教育連合ニュース No.141 発行
- 6月29日(日) 第1回 理事会・運営委員会
会場 東京家政大学
- 8月 造形・美術教育力養成講座〈第Ⅲ期〉開催予定
- 8月31日(日) 第2回 理事会・運営委員会 及び論集編集委員会
会場 東京家政大学
- 9月 日本美術教育連合ニュース No.142 発行
- 10月19日(日) 第48回 日本美術教育研究発表会
会場 東京家政大学
- 11月24日(月) 第3回 理事会・運営委員会 及び論集編集委員会
会場 東京家政大学
- 12月7日(日) 第4回 理事会・運営委員会 及び論集編集委員会
造形・美術教育フォーラム
会場 未定

平成27年

- 1月25日(日) 第5回 理事会・運営委員会 及び論集編集委員会
会場 東京家政大学
- 2月 日本美術教育連合ニュース No.143 発行
- 3月15日(日) 第6回 理事会・運営委員会 及び論集編集委員会
会場 東京家政大学
- 3月31日(火) 日本美術教育研究論集2015 No.48 発行
- 4月5日(日) 会計監査 北澤俊之監事

-
- 4月19日(日) 第5回 定時総会
会場 未定

収 支 予 算 書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,000	4,000	0
基本財産受取利息	4,000	4,000	0
受取入会金	30,000	30,000	0
受取入会金	30,000	30,000	0
受取会費	1,290,000	1,290,000	0
受取正会員会費	1,140,000	1,140,000	0
受取賛助会員会費	150,000	150,000	0
事業収益	500,000	500,000	0
受取論集広告料	200,000	200,000	0
受取論集掲載料	300,000	300,000	0
受取補助金等	301,000	301,000	0
受取寄付金	300,000	300,000	0
受取利息	1,000	1,000	0
経常収益計	2,125,000	2,125,000	0
(2) 経常費用			
事業費	1,464,000	1,464,000	0
雑給	0	0	0
消耗品費	2,000	2,000	0
印刷製本費	700,000	700,000	0
通信運搬費	200,000	200,000	0
賃借料費	442,000	442,000	0
諸謝金	100,000	100,000	0
資料費	5,000	5,000	0
会議費	15,000	15,000	0
管理費	530,000	530,000	0
給料手当	0	0	0
会議費	200,000	200,000	0
旅費交通費	10,000	10,000	0
通信運搬費	40,000	40,000	0
消耗品費	5,000	5,000	0
印刷製本費	40,000	40,000	0
支払負担金	30,000	30,000	0
計算書類作成費	200,000	200,000	0
雑費	5,000	5,000	0
経常費用計	1,994,000	1,994,000	0
当期経常増減額	131,000	131,000	0
当期一般正味財産増減額	131,000	131,000	0
一般正味財産期首残高	5,069,604	5,369,176	△ 299,572
一般正味財産期末残高	5,200,604	5,500,176	△ 299,572
II 正味財産期末残高	5,200,604	5,500,176	△ 299,572

34th World Congress of the International Society for Education through Art
(InSEA 2014) Melbourne Australia
第34回 国際美術教育学会世界大会 (InSEA2014) メルボルン オーストラ
リア大会

日 程	7月7日(月) 基調提案・歓迎レセプション 8日(火) 全体会・個別発表(午前)・昼食(ポスター発表)・個別発表(午後)・ 記念講演 9日(水) 全体会・個別発表(午前)・視察ツアー・夕食会 10日(木) 個別発表(午前)・全体会・昼食(InSEA総会) 個別発表(午後)・パネルディスカッション 11日(金) 個別発表(午前)・全体会・閉会行事
会 場	The Melbourne Cricket Ground (MCG) メルボルンクリケットグラウンド
大会テーマ	Diversity Through Art 芸術による多様性 Change / Continuity / Context 変化／継続／状況 Change - What changes are needed in a contemporary arts education landscape? 改革－現代の芸術教育において必要な改革とは何か。 Continuity - What is important to preserve amidst arts education/policy/change? 継続－芸術教育、その方針と改革を維持する為に何が重要か。 Context - How do we address/contest/maintain arts education in diverse contexts? 状況－我々は、多様性の中で、芸術教育をどのように提案し、議論し、主張するのか。
参加申込 連絡	大会ホームページよりWeb申込 http://www.insea2014.com/registration.html ・本大会において、次期InSEAアジア地区評議員に茂木一司先生(本連合運営委員、 群馬大学)が選出される予定です。 ・エル・バシオニー賞(Mahoud El-Bassiouny Award)を福本謹一先生(本連合運営 委員、兵庫教育大学)が受賞されることになりました。この賞は、InSEA会員の内、 専門的かつ地域的貢献に優れた人物に対して与えられるもので1994年に制定され、 これまでに6名が受賞しています。今回は、福本先生の2002年から2008年のInSEA 評議員、2008年のInSEA世界大会(大阪大会)実行委員長、2006年(ポルトガル)、 2010年(韓国)ユネスコ芸術教育世界会議国際顧問等のご活躍が、芸術教育の国際 的な発展に貢献をしたと認められ表彰に繋がりました。表彰式が今回の世界大会で 行われます。 ・次回、第35回世界大会は、大韓民国大邱市での開催と決定しました。2017年の5月に、 大邱市EXCO(大邱市コンベンションセンター)で、「Spirit∞Art∞Digital」をテー マとして1500人規模の大会を想定して準備が進められています。連合では、本大会 参加ツアーを計画しております。

小中学校教員、美術館関係者、連合会員、画塾経営者、学生、保護者の皆様へ
公益社団法人日本美術教育連合主催造形・美術教育力養成講座の御案内
— 第2期【子どもと造形表現】 —

ご挨拶

「日本美術教育連合」は内閣府の承認を得た造形・美術教育にかかわる唯一の公益社団法人です。一昨年より新しい事業として、連続講座を企画し、多くの方々から好評を博しました。今期は、「子どもと造形表現」をテーマとして、気鋭の講師陣が担当いたします。

どうぞ、奮ってご参加ください。

(公益社団法人日本美術教育連合 理事長 宮坂元裕)

主旨：子どもと造形表現をめぐって理解を深め、講義と演習を通して教育実践力を高める8回連続の講座を行ないます。すべての講座を満了し、一定の規程を満了した参加者には、公益社団法人日本美術教育連合からの「認定証」を授与します。

日 程：平成26年8月26日（火）、8月27日（水）の2日間（90分×8回）

参加料金等：一講座1,500円当日払い（日本美術教育連合会員は、1,000円）

（随時受付。参加ご希望の方は、次頁のファックス送信票をご利用ください。）

会 場：CCAA四谷ひろば コミュニティールーム4

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-20

TEL：03-3359-3413 FAX：03-3354-2708

ア ク セ ス：東京メトロ丸の内線 四谷三丁目下車 徒歩5分

都営地下鉄新宿線 曙橋駅下車 徒歩7分



FAX送信票

CCAA (NPO市民の森芸術活動推進委員会 四谷アートプラザ内)
FAX番号 03-3354-2708

公益社団法人日本美術教育連合主催講座
—造形・美術教育力養成講座— <第2期>子どもと造形表現
○印をつけた講座に参加を希望します。

	講座名・日時	参加希望 講座に○
1	講師：奥村高明（聖徳大学教授、前文科省教科調査官） 「子どもの絵の見方 ー表現者としての子どもー」 日時：8月26日 火曜日（9:00～10:30）	
2	講師：水島尚喜（聖心女子大学教授） 「子どもと絵本文化」 日時：8月26日 火曜日（10:50～12:20）	
3	講師：西村德行（東京学芸大学准教授） 「表現と鑑賞の狭間 つくってみる」 日時：8月26日 火曜日（13:30～15:00）	
4	講師：茂木一司（群馬大学教授） 「協同と表現の学びとしてのワークショップ」 日時：8月26日 火曜日（15:20～16:50）	
5	講師：小林貴史（造形大学教授）北澤俊之（東洋大学准教授） 「アメリカの『美的教育』プログラムに学ぶ」 日時：8月27日 水曜日（9:00～10:30）	
6	講師：榎原弘二郎（埼玉大学名誉教授）関口竜平（公立中学校教諭） 「障害のある子どもの表現 ー特別支援教育から学ぶことー」 日時：8月27日 水曜日（10:50～12:20）	
7	講師：宮坂元裕（横浜国立大学名誉教授）藤崎典子（前小学校教諭） 「海外での表現教育の事例」 日時：8月27日 水曜日（13:30～15:00）	
8	講師：橋本光明（長野県信濃美術館・東山魁夷館館長、信州大学名誉教授） 「(仮)美術館と子ども」 日時：8月27日 水曜日（15:20～16:50）	

●参加者氏名／所属等	
●参加者住所	
●連絡先電話番号 (内容変更時等の連絡用)	

第48回 日本美術教育研究発表会 2014

【一次案内】

公益社団法人 日本美術教育連合理事・研究局長 山口 喜雄

「国際理解と美術教育の前進」を企図して歴史的なInSEA東京世界大会が1965年に開催され、翌1966年に第1回日本美術教育研究発表会が創設されました。その精神を引き継ぎ、第48回を児童教育・造形表現・服飾美術等の学科を擁し、造形美術表現や教員養成にも力を入れている東京家政大学にて開催いたします。本発表会は美術教育の理論研究にとどまらず、実践研究をも重視しています。公益社団法人後4回目の今回もよりよい研究発表会になるよう、従前の口頭発表（発表20分+協議5分）の他に①モジュール口頭発表（発表30分+協議25分）3コマ、②2012年度新設の研究ノート、③発表会改善アンケート（今年度運営反省と次年度企画提案）、以上3つの新機軸を継続実施いたします。意欲的な方々の美術教育に関する研究発表や参加をお待ちしています。

参加要項

- 開催日時： 2014（平成26）年**10月19日（日）** 9時～17時30分（予定）
- 会場： **東京家政大学** 〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1
経路の詳細は同大学HP（http://www.tokyo-kasei.ac.jp/college/col_index.html）を参照願います。
- 参加費等： 参加費は500円（概要集代、事前申し込みは不要）、会員以外の方でも参加できます。
『日本美術教育研究発表会2014概要集』をお渡しいたします。
- 主催： 公益社団法人 日本美術教育連合
- 後援： 文部科学省（申請中）

〈口頭発表〉申込8/21（木）必着

- 発表資格： 本会会員であること。新規入会希望者は、「研究発表〈口頭発表〉申込書」と共に、「入会申込書」を次のURL、<http://www.edu.gunma-u.ac.jp/bijutu/8.html>から印刷し、事務局長宛てにお送りください。入会には会員1名の推薦が必要です。身近に会員がいない場合は下記問合先にご相談下さい。
- 発表時間： 入会時に、入会金3,000円および本年度会費6,000円の郵便振り込みが必要です。
研究発表〈口頭発表〉20分 質疑応答5分 移動・準備5分〔発表者総数により変更有〕
〈モジュール発表：3組募集〉30分 質疑応答25分 移動・準備5分〔役員会で選定〕
- 発表区分： A群・B群・C群の3区分があり、「研究発表申込書」にどれかを明記して下さい。
A群：理論・実践研究論文（査読あり、投稿時に英文のサマリーが必要です）
B群：実践研究報告等（査読あり、題目のみ英文標記）、C群：研究ノート（同前）
- 発表方式： 申込時に希望機器を明記して下さい。①液晶プロジェクター（HD-D-Sub15ピン対応）等配布用のレジューメまたは資料等は、50～70部程度ご用意下さい。
- 発表申込： 「研究発表〈口頭発表〉申込書」の**申込期限厳守 2014年8月21日（木）必着**
申込書記入は日本美術教育連合HP掲載の様式で、E-mailまたは郵送で送付して下さい。
E-mail送付先：takaoyuki@icloud.com 結城孝雄（東京家政大学）宛
E-mailを送信後7日後以内に受付確認の返信がない場合は、念のため再度送信して下さい。
概要集転記のため下記1)～6)は期日までにE-mailで**全員必ず**送付して下さい。
封書表左下またはメールの見出しに「●2014連合発表申込（氏名）」とお書き下さい。
1)発表者氏名・所属先・職位（発表者複数の場合も全員／院生等は課程名・学年も記入）
2)発表者連絡先 自宅〒・住所（帰省先も記入）、電話（携帯）、メールアドレス
3)発表区分：A群・B群・C群の別
4)発表方式の別：液晶プロジェクター等
5)発表題目：和文と英文（①氏名の英表記も忘れずに）
6)概要文（600字以内：和文のみ、完全原稿をお願いします）
上記不備の場合は〈研究発表〉ができません。メールが使用できない方はご相談下さい。

備考・問合先

- 参照URL： <http://www.edu.gunma-u.ac.jp/bijutu/8.html>（役員・茂木一司作成／群馬大学）を参照。
- 発表時程： 9月下旬発行の『連合ニュース142号』に掲載し、会員に送付する予定です。
- 問合先： 研究局長・山口喜雄 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 宇都宮大学教育学部
山口研究室TEL&FAX 028(649)5364(直通)／E-mail nobuoya@cc.utsunomiya-u.ac.jp

第48号 日本美術教育研究論集 2015

【投稿および掲載要項】

研究論集編集委員会

投 稿 要 項

- 投稿条件： 第48回日本美術教育研究発表会の研究発表者は、『第48号研究論集2015』に投稿できます。投稿論文の研究論集への掲載は、次の(1)～(5)の条件を全て満たしたものに限り、
(1) 投稿原稿が、研究発表会における発表内容と基本的に同じ内容であること。
(2) 投稿原稿が、研究論集の要項に適合して、書式・分量等が守られていること。
(3) 掲載料を期日(2014年11月12日)までに納入していること。
(4) 作品の図版や写真・VIDEO映像等の著作物を利用する場合および写真等の肖像権は、投稿者が必ず事前に著作権者・出版社・所有者・本人もしくは保護者等の許諾を得ること。
引用文献には、脚注または本文中に発行所・出版年・該当頁等の出典を明記すること。
(5) 研究論集編集委員会において、投稿原稿の掲載が妥当と判断されること。
- 論文査読： A群(理論・実践研究論文)・B群(実践研究報告等)・C群(研究ノート)ともに複数の査読委員が査読を行い、編集委員会での審議を経て投稿原稿掲載の可否を決定します。掲載が決定した論文は、各主査がまとめて論評し、各論評を研究論集の〈論評の部〉に掲載します。
- 原稿書式： A群・B群・C群ともに、本文および図版(写真・表・図等)等、英文サマリー(A群のみ)を含め、下記の文字数を守って下さい。
1頁分は、A 4横組2段 23字×44行×2段=2024字です。
第1頁のみ第1行目から第5行目(2段取り)までに、題目(副題)・所属・氏名を記載し、本文との間に2行(2段取り)のスペースを空け、本文は、8行目から書き始めます。
共通の項立て・見出しを用い、以下の番号と見出し語のみとします。
大項目 1. 2. 3. [全角数字] …、中項目 (1) (2) (3) …、小項目 ①②③…。
- 掲載要項： A群・B群・C群ともに原則として8頁(C群のみ6頁も可)とし、掲載料は一般(給与を得ている内地留学生等を含む)は15,000円、院生・学生8,000円です。
2頁増ごとに6,000円を加算し、10頁では一般21,000円、院生・学生14,000円です。
増頁の上限は12頁で、一般27,000円、院生・学生20,000円です。
原稿は、①ワープロ等で印字し、②テキスト形式で保存したCD-R等を合わせて提出すること。CD-R等の未提出の場合は、一般・学生とも加工料込み30,000円です。
カラーページは1頁につき12,500円を加算します。
抜き刷り(一律50部)は、8頁モノクロで7,000円です。2頁増ごとに2,000円を加算します。(抜き刷りのカラーページは、1頁ごとに2,000円を加算します。)
掲載料は投函以前に納入し、送金の証明書(利用明細書のコピー等)を同封して下さい。
口座記号番号：00170-1- 86036 (右寄せで記入) 郵便振込です。
加入者名：社団法人日本美術教育連合
ご依頼人：(〒)おところ・おなまえ・電話番号・所属
通信欄：例 掲載料15,000円(一般、8頁)+増頁分6,000円(2頁増の場合)=21,000円(計10頁)
抜き刷りを希望の場合は、その旨明記し、必要な金額を加算してください。
※査読の結果、掲載に至らない場合は10,000円(院生・学生は5,000円)のみ返金となります。抜き刷りの料金については、全額返金します。

〈投稿原稿〉11/12(水)必着

- 投稿〆切： 2014(平成26)年11月12日(水)必着。A群・B群・C群とも、
①正1部と副4部(コピー可)計5部、②原稿CD-R等、③送金証明書を提出して下さい。
投稿原稿は、完全原稿とし、締め切り期日以降の差し替え・変更は認めません。
ただし、研究論集編集委員会が修正を求めるときは、この限りではありません。
なお、発行日は2015(平成27)年3月31日を予定しています。

- 送付先： 〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1
東京家政大学 家政学部 児童教育学科 結城孝雄 宛

連絡・問合せ

- 詳細連絡： 研究発表会当日に詳細を連絡します。口頭発表者は時程と場所を二次案内で確認して下さい。
□問合せ先： 研究論集編集委員長 小林貴史：042-637-8111(代) ktakashi@zokei.ac.jp(東京造形大学)

公益社団法人 日本美術教育連合 入会申込書 (学生・一般)
○で囲んで下さい

公益社団法人 日本美術教育連合
理事長 宮坂 元裕 様

日本美術教育連合への入会を申し込みます。

平成 年 月 日

ふりがな

氏名

印

■ 現住所 〒

電話・FAX (自宅) または携帯

■ 勤務先・職名

[学生は学校名・学年(専攻名)]

所在地 〒

電話・FAX (勤務先)

■ Eメール

■ 帰省先 (※ 夏・年末・春等に帰省される方は帰省先の住所・電話：現住所が同一の場合は以下空欄)
住所 〒

電話・FAX (帰省先)

上記の方を会員として推薦いたします。

平成 年 月 日

会員氏名

印

※送付先・問い合わせ先 〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1 東京家政大学
公益社団法人 日本美術教育連合 事務局長 結城 孝雄宛
TEL+FAX 03-3961-5594 (研究室 直通)
E-mail : takaoyuki@icloud.com

※ 送付と同時に以下の要領で入会金と年会費の「郵便振込」をお願いいたします。

口座記号番号：00170-1- 86036 (右寄せで記入)

加入者名 : 公益社団法人日本美術教育連合

通信欄 : 入会金 3,000 円 (入会時のみ) + 平成 26 年度会費 6,000 円 = 9,000 円

ご依頼人 : おところ (〒) ・おなまえ (電話)

第48回日本美術教育研究発表会2014 研究発表申込書

○で囲んで下さい
(学生・一般)

公益社団法人 日本美術教育連合
理事長 宮坂 元裕 様

●日本美術教育研究論集第48号への投稿(有料)が可能です。
モジュール55分発表希望【有・無】(役員会審査、3組選定します)
ご希望の「発表区分」および頁数に○をつけて下さい。
発表区分 A群 理論・実践研究論文(査読あり・要英文サマリー)
B群 実践研究報告等(査読あり)
A群頁数【8・10・12】頁、B群頁数【8・10・12】頁
C群研究ノート【6・8】頁(他、カラー頁有料 挿入可です)
*論集原稿の締め切りは、平成26年11月12日(水)必着です。

「第48回日本美術教育研究発表会2014」での研究発表を申し込みます。

平成 26年 月 日

ふりがな
氏名

印

■ 現住所 〒

電話・FAX (自宅) または携帯

■ 勤務先・職名

[学生・院生は学校名・学年(専攻名)]

所在地 〒

電話・FAX (勤務先)

■ Eメール

■ 発表時使用機器 (次の機器が使用可能です。ご希望の機器番号に○印をつけて下さい)

①OHP ②スライドプロジェクター ③液晶プロジェクター (HD-D-sub15ピン対応)

※液晶プロジェクター利用ご希望の方へ:

接続コネクタはHD-D-sub15ピン対応のため、対応する接続ケーブルを各自でご持参下さい。接続可能か不明の場合は、電気店等でお訪ね願います。

また、プロジェクター以外の機器類(パソコンやMOドライブ、変換ケーブル等)も各自でご持参下さい。

■ 帰省先 (※夏・年末・春等に帰省される方は帰省先の住所・電話: 現住所が同一の場合は、以下空欄)

住所 〒

電話・FAX (帰省先)

■ 研究発表申込書郵送先: 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350 宇都宮大学教育学部 山口喜雄 宛
※封書表左下に「●連合発表申込」とお書き下さい。下記メール送信のみも受け付けます。

■ 申込期限 平成26(2014)年8月21日(木) 必着(メール送信も左記同日×切)

※問い合わせ先 E-mail/結城孝雄(東京家政大学): takaoyuki@icloud.com

発表題目

●重要: 上記山口喜雄アドレス宛にタイトル「●2014 連合発表申込(氏名)」で、次の1~7を送信願います。

1. 発表者氏名・所属先・職位(複数の場合は全員/院生等は課程名・学年も記入)
2. 発表者連絡先 自宅〒・住所(帰省先も必ず)、電話(携帯)、メールアドレス
3. 発表区分の別および頁数: A群・B群【8・10・12】頁、C群【6・8】頁、P群
4. 発表方式の別: ①液晶プロジェクター、②スライドプロジェクター、③実物投影機
5. 発表題目および英文題目(氏名の英表記も忘れずに)
6. 概要文(600字以内)

【訃報】

本公益社団法人日本美術教育連合理事長 長谷喜久一先生が去る平成26年5月4日ご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

先生は大正6年（1917年）9月愛知県でお生まれになり、愛知県第一師範学校本科第一部に入学され、恩賜記念賞を受賞されてご卒業なさいました。ただちに東京高等師範学校図画手工専修科に入学され、その後29名の卒業生から一人選ばれて昭和19年東京高等師範学校訓導兼助教授に就任され昭和54年まで東京教育大学付属小学校で文部省学習指導要領作成協力者などや、何冊もの著書出版など、図画工作教育の実践的研究にまい進されました。最後は副校長を務められ62歳の時、湘北短期大学が幼児教育学科を開設するにあたり、初代学長、鳩山道夫先生のお誘いで、教授としてその任にあたり、学科長として70歳までご活躍なさいました。その後、社団法人日本美術教育連合理事長を歴任されました。一時衰退した社団法人を、黙って先生個人の資材を投じながら今日、美術教育界唯一の公益社団法人になるいしずえをおつくりになったのです。いわば日本美術教育連合中興の祖であります。また生涯、示現会会員として絵画制作を続けられました。先生は、男らしく寡黙でありましたが、頭脳明晰であり、才能は「手工教育」の伝統を正当に身に着けた実力者でありました。常識をくつがえすことによって新たな局面を開くことがしばしばあり、常に物を作りながら考え、率先垂範の立派な教育者でありました。先生のご冥福を心より、お祈り申し上げます。

公益社団法人 日本美術教育連合理事長 宮坂 元裕

事務局便り

■平成25年度 ご寄附の御礼

昨年度、会員及び賛助会員の皆様にご寄附のお願いをいたしましたところ、計147,500円もの多分なご芳志を頂戴いたしました。この場をおかりして御礼申し上げます。

【ご芳名】

開隆堂出版(株)・菊入康夫・(公財)教育美術振興会・郡司明子(株)サクラクレパス・新日本造形(株)・仲瀬律久・長瀬達也・(公財)日本習字学会・日本文教出版(株)・林耕史・(株)美工堂・(株)美術出版サービスセンター・藤崎典子

(50音順／敬称略)

■平成25年度 会員の異動

平成25年度退会者

池内 慈朗 片岡 杏子 合田 芳弘 佐々木大次郎 水上 喜行

平成25年度入会者

一條 彰子 大神 優子 大高 幸 小川沙弥香 木村 早苗 桐田 敬介
黒木 健 古鎌 幸一 五傳木浩樹 佐藤絵里子 寺島 洋子 中平 千尋
飛知和朋子 黛 早織 三上 慧 水島 ゆめ 森恵 美子 山田佐映子

■平成26年度（2014年度）会費納入のお願い

本年度会費納入のお願い

平成26年度会費 6,000円 を 納入してください。

納入期限 2014（平成26）年8月29日（金）

* 同封の振り込み用紙をご利用ください。（手数料はご負担ください。）

お名前を記載した振込用紙に、納入済みの方は○、未納の方は－が印字されています。
ご確認ください。

* 平成19年度より会費の納入をお願いしておりますが、会員の皆様からの納入状況は決してよくありません。今一度、会員の意識にたち、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

▲ 3年以上の会費未納の皆様へ

* 平成25年度から、過去3年以上、会費未納の方につきましては、今回ご入金いただけない場合、「除名」という対応をとらざるを得ません。納入にご協力ください。

* 納入期限：平成26年8月29日（金）

今回の納入のお願いと行き違いで納入済みの方には、失礼をお許しください。

■お問い合わせ先：事務局 東京家政大学 家政学部 児童教育学科 第7研究室
公益社団法人 日本美術教育連合 事務局長 結城 孝雄 迄
〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1 東京家政大学
TEL+FAX 03-3961-5594（研究直通）
E-mail takaoyuki@icloud.com
【郵便振替】（公社）日本美術教育連合 口座番号 00170-1-86036